

令和2年度 主な地方創生関連事業の進捗状況報告 一覧表

R3.1.4現在

NO.	事業名	事業概要	予算額 (千円)	進捗状況の報告	担当課
①	下野市を知ればもっと好きになる！交流・関係・定住人口好循環プロジェクト	①本市を知ってもらい新たな交流人口・関係人口の創出 ②交流人口から関係人口への移行 ③地域におけるまちづくり人材の育成と関係人口の支援組織・団体の設立準備 ④上記の一体的なPRと情報発信	15,605	①関係人口創出事業「しもつけクエスト」全3回をオンラインで開催しました。1回につき約20名の方にご参加いただき、関係人口の創出と併せて、関係人口の受け皿となり、ともに地域でまちづくり活動を担う若者の人材育成に取り組みました。 ②ご当地アニメ「サクラノチカイ」のファンクラブを昨年度から創設し、会員数は令和2年12月1日時点で47名となりました。当初予定していたファンクラブ会員同士の交流会やイベントは新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、「サクラノチカイ」及び下野市の情報発信を目的としたメールマガジンの配信や、「サクラノチカイ」応援イラスト募集企画などを行い、関係人口の繋がりを深めました。 また、下野市の情報発信企画として、「#プチハピしもつけ」をつけてSNSに投稿してもらった「プチハピしもつけサポーター」を対象とした動画編集セミナーを、市内の方は庁舎で、市外の方はオンラインで同時に行い、サポーターの情報発信力を深めました。 ③中間支援組織設立のため、地域おこし協力隊の鈴木隊員を採用し、まちづくり人材発掘のために人材育成セミナーをオンラインイベントで行いました。 ④PRサイト「プチハピしもつけ」をリニューアルし、スマホ・タブレットでも見やすいサイトに再構築しました。また、Twitter、Facebook、instagramのSNSを使った情報発信を行い、今年度新たにLINEの公式アカウントを作成し、新たなユーザーへの情報発信を開始しました。	総合政策課
②	6次産業化施設ゆうがおパークの活性化事業	①経営診断（全体） ②店づくり計画（農産物・レストラン部門） ③6次産業化（加工部門） ④イベント・体験活動 ⑤地域特産品であるかんぴょうの消費拡大	3,209	①ゆうがおパークの経営状況について中小企業診断士に委託し、年間を通じた経営診断を行うとともに、現状分析・改善提案、現場指導などを行いました。 ②専門家の指導のもと運営者自らが自立的により良い店づくりができるよう育成を進め、棚づくり・配置・動線計画の検証・改善、メニューの検証・改善、ポップ・ラッピングなどの改善提案などを実施しました。 ③6次産業化アドバイザーの指導を受け地域の農産物を活用した利益を生むことができる商品の開発に向け研修会等を行いました。 ④新型コロナウイルス感染症の感染拡大により当初計画していたイベントを実施することができなかつたが、感染予防を図りながら稲刈り体験を実施した。また、「かんぴょうまつり」に代わって、ゆうがおパーク来場者にかんぴょうに関するアンケート調査を行い協力者にかんぴょう料理等を提供し、かんぴょうの普及・PR、販売増に繋げる取組を行った。 ⑤ゆうがおパークの名前ともなっている、地域特産品であるかんぴょうの消費拡大を図るため、小中学校の給食にかんぴょうメニューを採り入れてもらい、子供の頃からかんぴょうに親しむ機会を設けることにより、持続的なかんぴょうの消費拡大、伝統的な地域産業の生産振興を図る取組を実施しました。 学校給食にかんぴょうを利用した場合の費用補助（1人300円×約5千人）	農政課

③ 広域交通でつなぐ地域の宝・1市2町連携事業 実証運行業務費用	①広域連携バス実証運行業務費用 ②広域連携バス利用促進事業	18,789	①実証運行を開始した令和元年10月から令和2年9月までの運行実績は、獨協医大往復線が乗車人数26,575人、運賃収入7,042,588円、ゆうきが丘循環線が乗車人数2,044人、運賃収入570,499円という結果となりました。また、更なる利用促進のため令和2年10月から、ゆうきが丘循環の運行ルートが大松山運動公園まで延伸しました。 ②1市2町の対象施設を巡る「ゆうがおバススタンプラリー」、輝け下野エール大使である、一葵さやか先生書き下ろしイラストを用いた「ゆうがおバス絵画コンテスト」、バス利用者に対する「ゆうがおバスアンケート」、地方紙・タウン誌・ラジオ等を活用した「ゆうがおバスPR」の4事業を実施しました。	安全安心課
	広域連携健康マイレージ事業	270	ポイントカードに「上三川町・壬生町の健康や運動に関するイベントへ参加」の欄を設け、2町のイベントに参加した場合もポイントとしてカウントできるようにしましたが、新型コロナウイルスにより各種イベント等が中止となり、他町へのイベント参加者は減少傾向にあります。	健康増進課
	かんぴょう普及促進のためのPR用品購入費用	365	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により当初計画していたPR活動を実施することができなかつたが、感染予防を図りながら、ゆうがおパーク来場者にかんぴょうの普及・PR活動を行った。	農政課
	しもつけブランドPR事業のための業務委託費用 移住促進のため創業支援促進 立地企業連絡協議会講演会業務委託費用	1,777	・しもつけブランドPR事業として道の駅しもつけにおいて「しもつけブランドフェア」を開催していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となりました。 ・移住促進のため創業支援促進として、創業資金2件、女性企業家創業資金3件の合計5件で1,400万円の融資が実行されています。 ・立地企業連絡協議会講演会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となりました。	商工観光課
	1市2町移住定住促進費用	1,503	シティプロモーションパンフレット「下野市100のコト」を5,000部増刷しました。また、プロモーション用ノベルティグッズとして、エコ・トートバック3,800個を作成しました。移住セミナー等で配布を予定しています。 ふるさと回帰フェアについて、今年度はオンラインでの開催となり、下野市は参加しましたが相談者は1組(2名)でした。	総合政策課

④	文化財を活用した地域づくり事業	②文化財パンフレット作成（下野市文化財マップ）	250	<p>文化財の保存と活用によるまちづくり事業である「東の飛鳥プロジェクト」の一環として、VRを活用した文化財ガイドアプリ（下野薬師寺跡、しもつけ古墳群、日光街道関連文化財、東山道関連文化財群）による文化財周遊の活性化を図ってきました。</p> <p>本年度は、これらのアプリの利用による周遊と本市の歴史文化の理解促進のため、アプリの利用方法をわかりやすく解説した文化財マップである「れきぶんマップ」を作成しました。</p>	文化財課
		計 うち国交付金 うち県補助金	41,768 (17,301) (3,125)	地方創生推進交付金 わがまち未来創造事業補助金	